

令和6年度第1回京田辺市学校部活動の地域移行推進協議会
会議録

日	時	令和6年8月7日(水)	午後2時00分	開会
			午後4時00分	閉会
場	所	京田辺市役所庁舎4階	403会議室	

委員委嘱及び任命

- 会議議題 (1) 本協議会について
(2) 部活動意識調査の結果について
(3) 休日の学校部活動の地域移行の試行について
(4) その他

出席者	委員長	竹田正樹
	委員	山際雅詩
	委員	岡嶋一晃
	委員	森本克美
	委員	横井秀平
	委員	松下まどか
	委員	今村京子
	委員	坂本健二

(事務局出席職員)

こども・学校サポート室	総括指導主事	勝又靖志
こども・学校サポート室	指導主事	西田悠太

(その他の出席者)

なし

傍聴者の数 0人

会議の要旨

○議題（１）本協議会について

〔協 議〕

事務局から資料に基づいて説明し、設置条例及び運営規則について説明し、今後のスケジュール等について協議を行った。

〔質疑等〕

（委 員）

10月に行う施行の部活動は、その後も地域クラブ活動として行われるのか。

（事務局）

その通りです。

（委 員）

令和８年度中に土日の部活動を地域移行することか。

（事務局）

目標として掲げながら、進捗状況によっては、スケジュールが変わることもあります。

○議題（２）部活動意識調査の結果について

〔協 議〕

事務局から資料に基づいて説明し、アンケートの結果について、協議を行った。

〔質疑等〕

（委 員）

この結果の中からポジティブな意見を見つけられるかが重要である。

（委 員）

生徒のアンケートから部活動に対しての不安は読み取れない。

（委 員）

部活動に所属していない生徒は、お金を出して自分の興味のある習い事に通っていることがわかる。

（委 員）

教職員からのアンケートからは、様々な考えがあり、課題を示してもらっていると感じる。

（委 員）

教職員の負担軽減が一つの目標となる。

（委 員）

５～１０年先にやっぱり学校部活動が良かったと言われなくないようにしていかなければならない。

○議題（３）休日の学校部活動の地域移行の試行について

〔協 議〕

事務局から資料に基づいて説明し、今年度の試行の内容について、協議を行った。

〔質疑等〕

（委 員）

剣道部を試行実施する際には、指導者や保護者などへの周知に配慮が必要である。

(委 員)

剣道部を募集する際に土日に限定せず、希望するのであれば、平日も参加できるようにしてはどうか。

(委 員)

具体的に進める上で、生徒の大会への登録や終始、報償費などの問題がある。

(委 員)

3中学校のハンドボールは、現在課題はあるのか。

(事務局)

特にはないです。

(委 員)

ハンドボール部は、今後5年先10年先を見据えて、ハンドボールに関われるように仕組みを考えていくことで、ハンドボールの街として、存続できると考える。そのために、3中学校が土日に合同練習を行うなど、土台作りから始めると良いと考える。

(委 員)

合同練習を行うだけでは地域移行にならないのではないかと。その後のゴールイメージを持って取り組んで行く必要がある。

(委 員)

今後試行の部活動を実施する上で、成功事例を積み重ねていけるようにすることが大切である。

(委 員)

次回までに、剣道とハンドボールの運営について、事務局と運営団体と協議し、第2回で提案してほしい。そこでしっかりと協議し、スケジュールが多少後ろに行っても、やむを得ないのではないかと。

(事務局)

本日の協議内容をもとに運営団体と協議し、次回提案をさせていただきます。

○議題（4）その他

特になし。

以上